

認知症に関する 正しい知識と治療・ケア

◇ 『「絆」を築くケア技法

ユマニチュード

人のケアから関係性のケアへ』

大島寿美子／著 イヴ・ジネスト／監修
本田美和子／監修 誠文堂新光社

認知症の新しいケア技法として注目されている「ユマニチュード」。その研究内容や技術、発祥国のフランスや日本の現状を紹介。

◇ 『気持ちが楽になる

認知症の家族との暮らし方』

繁田雅弘／監修 池田書店

家族の体験談や専門医による体調管理のアドバイス、認知症についてのQ & A、医療や介護サービスの紹介など、認知症の人もその家族もともに幸せな生活を送るための1冊。

認知症の人 本人の視点から

◇ 『ボクはやっと認知症のことがわかった

自らも認知症になった専門医が、

日本人に伝えたい遺言』

長谷川和夫／著 猪熊律子／著 KADOKAWA

長谷川式認知症スケールを開発した認知症ケア第一人者の専門医が認知症になって感じたこと、わかったこと、どうしても日本人に遺したいことを語る。

◇ 『丹野智文笑顔で生きる

認知症とともに』

丹野智文／著 奥野修司／文・構成 文藝春秋

車のトップセールスマンだった著者が39歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断されてから笑顔を取り戻すまでの経験を綴る。認知症当事者に届けたい1冊。



Vol.3 2020年8月1日発行

※紹介している本は、伊勢図書館
または小俣図書館で貸出ができます。
貸出中の場合は予約ができます。

ルポルタージュ

◇ 『ぼけますから、

よろしくお願ひします。』

信友直子／著 新潮社

同名の映画の監督でもあるドキュメンタリー作家の作者が綴った、認知症になった母と90歳を過ぎて初めて家事に挑む父の老老介護のリアルな記録。